

## 一粒の麦②荻野吟子記念館と生誕乃地公園

嘉永4年（1851年）に荻野吟子は、現在の熊谷市俵瀬に生まれました。自分の体験から女性医師の必要性を痛感し、医師になることを決意します。当時、女性には医師の道は閉ざされていましたが、目の前に立ちはだかる壁を信念とたゆまぬ努力で克服し、明治18年（1885年）医術開業試験に合格して、日本の公許女性医師第1号となった埼玉県三偉人の一人です。記念館は荻野吟子の生家の長屋門を模した、瓦葺屋根・漆喰一部下見板の和風建築で、部屋は展示室と休憩室に分かれ、展示室には荻野吟子の生涯を時代に合わせて説明した年表や資料を展示しています。



荻野吟子記念館 所在地 埼玉県熊谷市俵瀬 581-1

Copyright (C) 2019 oainoainkokinenkan All Rights Reserved.



日本初の女性医師、荻野吟子の生涯を映画化へ  
熊谷市出身で日本初の女性医師、荻野吟子（1851～1913）の波乱の生涯を描いた映画が来春、社会派映画を手がける山田火砂子監督（86）の手で制作される。山田監督にとって吟子は「女性の地位向上に尽くした先駆者」で作品として残したい人物だった。東京医大入試で女子受験者が不利に扱われた問題を受け、「今の医学界に一石を投じよう」とメガホンを取る決意をした。タイトルは「荻野吟子の生涯～日本ではじめての女性医師」（仮題）。

吟子は、1851（嘉永4）年、旧俵瀬村（熊谷市）に生まれた。17歳で名主の家に嫁ぐが、夫から性感染症をうつされて離婚。治療とはいえ、男性医師による診察で受けた屈辱をバネに医師を志した。34歳で公許女性医師の第1号になり、女性の医学界への道を切り開いた。  
2018.11.20



日本初の女医映画化を発表  
「男尊女卑と闘った」山田監督  
2019.03.22



本日3月3日は日本女医1号の荻野吟子女史の誕生日として、荻野吟子記念館で「吟子まつり」が行われました！  
吟子女史の生涯についての解説はもちろん、子ども向けの新しい紙芝居もお披露目され、おなじみの吟子鍋の配布など様々な企画が催され、雨天にもかかわらず大変多くの皆様にお出かけ頂きました！

今月17日には吟子女史の映画化に取り組む山田火砂子監督が製作に向けた思いを語る映画の上映会も行われます！  
本日は吟子女史を中心とした話題について様々な方と意見交換を行いました！

新たな史実に基づいて製作が行われる今回の映画を節目として、吟子女史の人物像も少し変わってくると思います！  
「花埋み」から「一粒の麦」へ、ぜひご期待頂きたいと思います！  
本日の企画運営に携わって頂いた皆様に心より感謝いたします！！

2019.03.03